

経済アナリストの記事は どこまで信じるべきか？

投資家の「自立」と「利益」のための真実



仕手株.コム presents

投資判断に迷った時、 あなたはどうしますか？

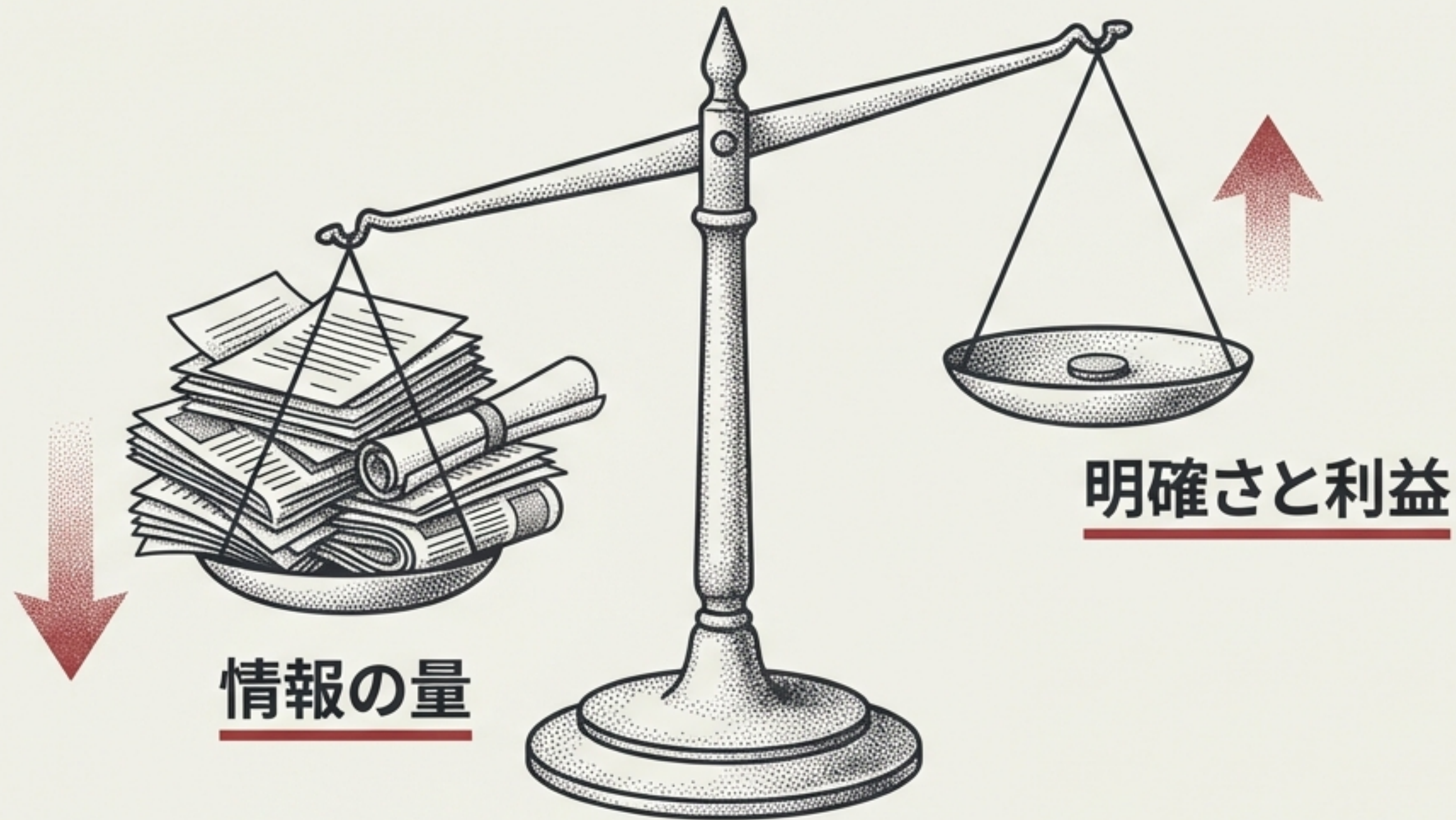
- ・「どのような銘柄に投資したら利益が出るのか？」
- ・「今後の市場の見通しはどうなるのか？」

多くの投資家は、解決策の一つとして
「経済アナリストの記事を参考にする」
という道を選びます。

しかし、その記事を参考にすることで、
本当に利益につながりましたか？



読めば読むほど「無意味」になるパラドックス



経済アナリストは仕事として記事を書いているため、内容は適当ではありません。
しかし、多くの記事を熟読すればするほど、情報は無意味になってしまいます。

専門家の意見は常に割れている



なぜ記事が参考にならないのか？それは、「株価が上昇する」と予想しているアナリストがいる一方で、「下落する」と予想しているアナリストも必ず存在するからです。

解説の正体は「後付け講釈」

記事内容をよく観察してください。

多くの場合、株価が上昇した後で
「上昇した理由」を探し、下落した
後で「下落した理由」を解説してい
るに過ぎません。

つまり、結果が出るまで誰も断言は
できていないのです。



誰も今後の株価の動きが分からない

これが、私たちが認めるべき出発点です。

経済アナリストであっても、未来を予知することは不可能です。

予測ではなく、確率と対応で戦う



予測 (Prediction)



確率 (Probability)

アナリストの記事が参考にならないなら、何を信じればいいのか？

答えは「自分自身の考え」と「確率論的思考」です。

投資対象になる銘柄が「上昇する可能性は高いが、下落する可能性もある」という前提で取引を行います。

期待値をコントロールする

利益を出し続けるためのメンタル
セット：

「上昇したらラッキー、
下落したらしょうがない」

あまり期待し過ぎないことが重要
です。期待し過ぎると、冷静な判断
を失い損失を出してしまいます。

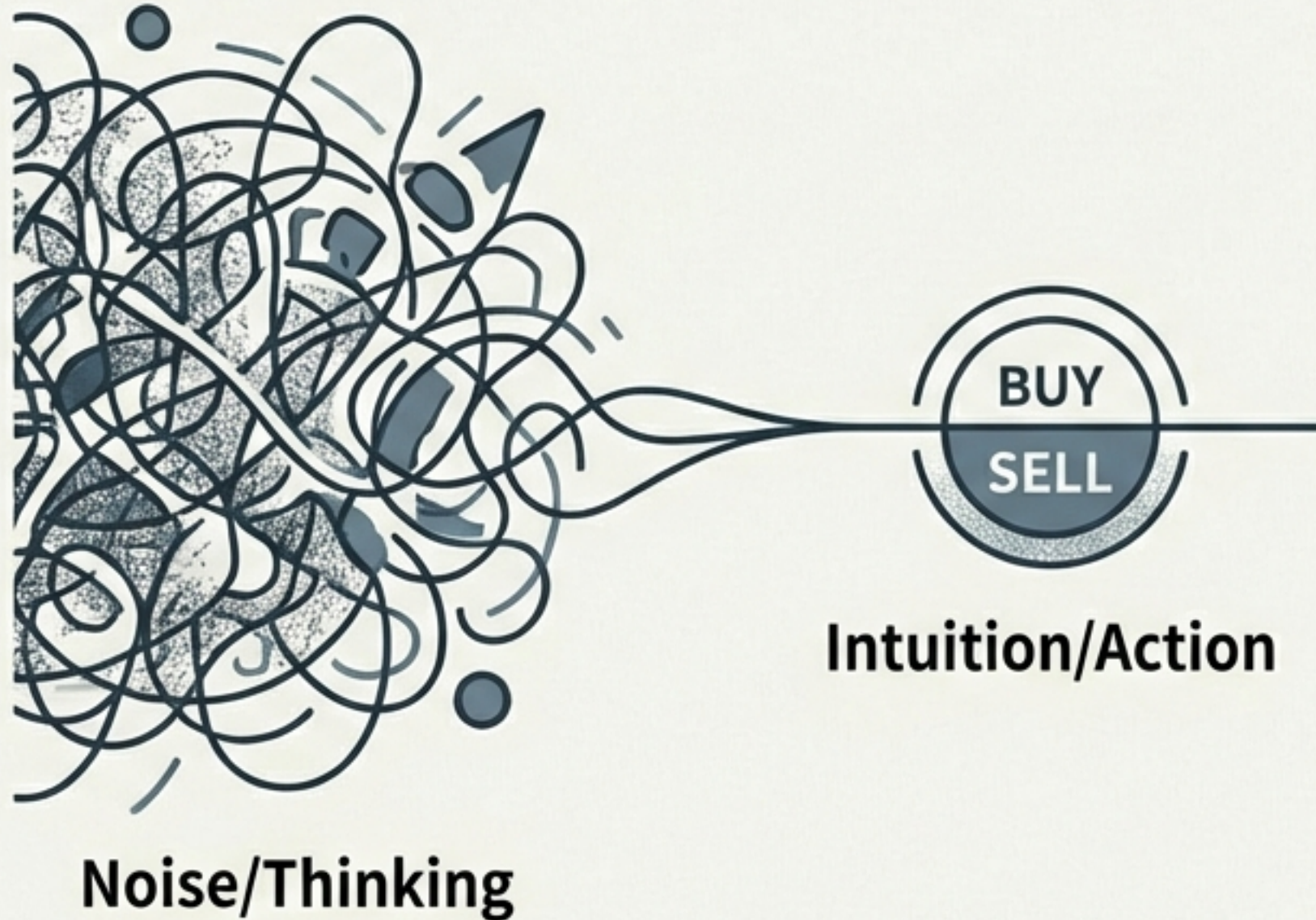


無意識の領域で取引する

極論を言えば、取引の瞬間はアレコレ考えないことです。

成功している投資家の感覚は、「ほとんど無意識のうちに取引を終えている」状態に近いのです。

外部の情報（ノイズ）を遮断し、自身の感覚を信じててください。



市場の歪みを捉える「仕手株」という選択



個人投資家だからこそ、証券会社にはできない戦い方があります。

「仕手株.コム」は、仕手株で利益を出すことに特化したサイトです。
単なるニュースサイトではなく、仕手筋（投資ファンド）の意図を読み解くためのツールです。

サイトの活用法：利益の共有



株価動向の確認

毎日更新される動向をチェック。



企画（有料）

取引のタイミング、仕手筋の企み、変わりつつある傾向を詳細に公開。



目的

このサイトは、仕手株投資による「利益の共有」を目的として運営されています。

投資家としてのスキルアップへ

仕手株投資で確実に利益を出し続けるためには、学ぶべきことがまだまだたくさんあります。
今、この瞬間の巡り合わせを「きっかけ」と捉えてください。

他人の予想に頼るのではなく、自律した投資家として突き進んでいきましょう。

仕手株.コム

shitekabu.com